

謹

賀

新

年

巳

新年を迎えるにあたり、町長をはじめ12人のかたからごあいさつをいただきましたのでご紹介いたします

令和7年が皆さまにとって素晴らしい年になりますようご祈念申し上げます

10年、20年、そして30年後の100周年に向けて

新年あけましておめでとうございます。町民の皆さまにおかれましては令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返りますと、新年早々に能登地方において大地震が発生し、数多くのかたが犠牲に、また被災者となりました。謹んでお悔やみとお見舞い申し上げます。

全国各地で集中豪雨に伴う災害の発生や長く続く異常に暑い夏となった年であり、まさに地球が悲鳴を上げているかのような年でした。また、それに対して有効な手立てがない、人間の無力さを感じざるを得ませんでした。

地球温暖化に起因すると言われる台風の大化や集中豪雨、ゲリラ豪雨の頻発は日本各地に多くの被害をもたらしております。幸いにも我が板倉町では、大きな被害は発生しておりませんが、いつ起きてもおかしくない、まさに対

岸の火事として見ていられる状況ではありません。災害への備えを今後も引き締め続けていかなくてはなりません。

そんななかでも、コロナ禍が一段落し、感染症法上の位置付けが5類に移行して1年経過したことにより、ほぼコロナ前の日常に戻ったことはひとつの救いだっただけかなく感じています。おかげさまで、板倉まつりや町民体育祭、町民文化祭などを滞りなく、開催することができました。一方で、地域に根付いていた伝統行事の承継問題や一度やめてしまった行事の再興など、考えていく必要があります。

世界に目を向けてみると、ロシアによるウクライナ侵襲やパレスチナ紛争の長期化、先進国の政治情勢の不安定化など、先の読めない時代になっていきます。ますますグローバル化が進むなかで、我が国ではエネルギー資源と食

料を輸入に頼り、サプライチェーンの見直しが迫られています。経済安全保障や食料安全保障といった他国や世界情勢に左右されない、国づくりが求められています。

板倉町も同様です。今年、板倉町は町制施行70周年を迎えます。先人たちが作り、守り続けてきたこの町のバトンを次世代へ無事に渡すために、今を生きる私たちが先々を見通しながら今やれることを精一杯やるのが重要です。

今年の取り組みとして、安心・安全、情報発信強化、東洋大学撤退への対応、教育施設の修繕・充実、保育園の一園化推進、小中一貫校の検討、町道整備、産業育成などを展開してまいります。

結びに、町民の皆さまにとって本年が幸多き年であり、ますようご祈念申し上げます。年頭のごあいさつとさせていただきます。

板倉町長 小野田富康





小林武雄
板倉町議会議員

行政と議会が協調し、よりよい町づくりを

明けましておめでとうございます。

町民の皆さまにおかれましては、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

また、日頃より議会に対してご理解とご協力を賜り、心より深く感謝申し上げます。

さて、近年は局地的に大雨が降る「ゲリラ豪雨」のため、道路の冠水や落雷による停電、交通機関への影響などの被害が各地で多発しています。私たちの暮らしに大きな影響を与える自然環境の変化への対応が喫緊の課題であると思います。

当町では、町主催の各種行事がコロナ禍以前に近い状態で開催されました。参加者同志のコミュニケーション、対面での繋がり大切さが改めて再認識

されました。

本年は、町政施行70周年を迎えます。記念式典や各種イベントなどが開催されますので、積極的に参加していただきたいと思えます。

議会では、従来の議会報告会の開催方法を見直し、町民の声を傾聴し、よりよい町づくりに生かせるよう議会活動を進めます。

大きく変化する社会情勢、町の抱える諸問題に対し、行政との連携を図り、議会全体で「地域で支え合う安全なまちいたくら」を目指し「責務」と「使命」を果たしてまいります。

結びに、本年も皆さまにとりまして、健康で幸多い年になりますよう、心よりご祈念申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。



根岸尚之
板倉町行政区長会長

より一層、皆さまのご理解ご協力を

私たちは今、混迷を極め、先行きの見えない「不安の時代」を生きています。豊かなはずなのに心は満たされず、自由なはずなのにどこか閉塞感があり、無気力や悲観的になりがちではないでしょうか。私たちの板倉町も例外ではありません。

例えば、深刻な役員の担い手不足。地域の人たちが積極的に参加すれば、地域生活はよりよいものになるはずですが、ライフスタイルの多様化や共働きなど、家庭の事情によって参加できないかたが増えつつあります。これをどのように解決していけばよいか、考え

ていく必要があります。また、ゴミステーションのルールの徹底、道路上にはみ出した草や木などの適正管理、空き家、害獣の問題、外国人とのコミュニケーションの課題などありますが、一番の課題は通学路の安全確保が最優先事項だと考えています。

行政区長会では、毎月会議を行い、さまざまな案件について議論しています。これからも15人の区長で緊張感を持って、頑張っていきたいと思えます。最後に本年が皆さまにとって、素敵な一年になりますよう、行政区長会一同願っています。

自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、令和7年の新春を健やかに迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、令和7年のスタートに当たり、今年も「凡事徹底」のもと、学習の基礎基本となる学習習慣・生活習慣の定着を図っていくことを目標とすると同時に、新たに試行錯誤しながら非認知能力を発揮して、自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す力を育てていきたいと思っています。

これからの時代を生きる子どもたちに求められるのは、自分自身の自主性や主体性を発揮して、困難な状況でも試行錯誤しながら自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す力です。これまで大人が、子どものために良かれとの思いから、失敗しないように先回りして与えずにいた教育が子ども

の自主性や主体性、さらに自分で動き出す力を損なっていた面があったのではないのでしょうか。子どもたち自身の伸びていくこうとする力を信じて見守っていく姿勢もまた大切にしたいです。この自分で考えて、自分で決めて、自分で動き出す力の育成に欠かせないのが、「非認知能力(自主性や主体性、協調性などのテストなどでの数値には表せない能力)」です。各学校では、これまでの教育活動の中に非認知能力の育成に向けた取り組みを始めています。今後は、学校と家庭が一体となって取り組んでいけるよう、教育委員会としても力を入れていきたいと考えています。

町民の皆さまには、本年が健やかで実りの多い年となりますよう、ご祈念申し上げます、新年のごあいさついたします。



赤坂文弘
板倉町教育長

「地域計画」について

明けましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、お健やかに新しい年を迎えられましたことをお慶び申し上げます。

さて、令和5年4月に施行されました「改正農業経営基盤強化促進法」などにより、「人・農地プラン」が「地域計画」として法定化され、各農業委員会において、農地利用の将来計画である「地域計画」および「目標地図」の策定が進められています。

地域計画を作成する目的は、農業者の減少や耕作放棄地の拡大、高齢化、人口減少など、地域農業を取り巻く厳しい状況の中で、地域の農業者自身が地域農業の現状と課題を把握し、将来の地域農業者の在り方(将来、地域の



小菅正美
板倉町農業委員長

最後に本年が皆さまにとりまして、実り多い年となりますよう心からお祈り申し上げます、新年のごあいさつとさせていただきます。

新たな困りごとに支援を

新年明けましておめでとうございます。昨年は新年のあいさつも済ませぬうちに能登半島地震が発生し、地勢ゆえに復興が遅れ、追いつきかけられるかのうちに豪雨に見舞われ、奥能登は壊滅状態となってしまいました。

また、世界に目を向けると長引く戦争により、子どもが多くが被害に遭っています。戦争や災害は、より弱い人に多くの被害を与えるものなのです。

さて、社会福祉協議会では地域福祉活動計画の下、「だれもが ともに支え合う 安心して暮らせるまち いたく」を目指して活動してきました。それは、「コロナ禍前」を目指した昨年は、

やっと以前のにぎわいに戻りつつありましたが、新たな課題も見えてきました。それは、「子育て支援」、「見守り・配食支援」、「孤立・孤独支援」、「日常生活支援」などです。

昨年は、いたくら福祉まつりにおける「eスポーツ」の試行やサロンによる「買い物支援」、猛暑対策として「クールシェア」などを実施しましたが、今後も続けていきたいと思えます。そのためにも町民の皆さまのご理解とご協力、そして行政や区長会、民生委員・児童委員やボランティアの皆さんの力をお借りして支援をしていきたいと思えます。



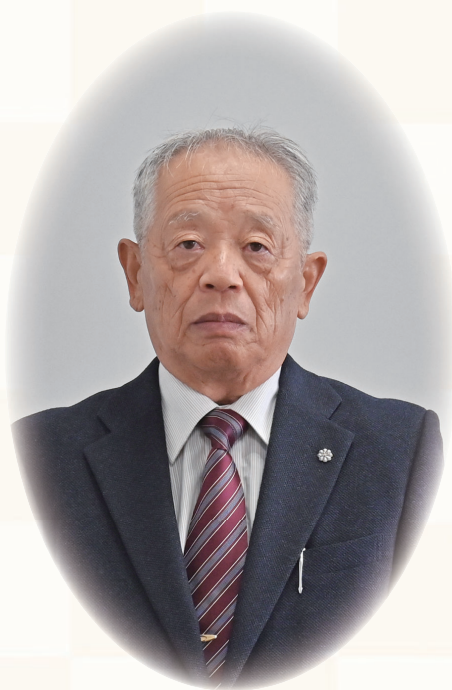
峯崎俊雄
板倉町社会福祉協議会長

身近な相談相手として

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、輝かしい新年を迎えられたものと心からお慶び申し上げます。

また、民生委員・児童委員の活動に對しまして、多大なご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

さて、昨年は1月1日の能登半島地震に始まり、南海トラフ地震の発生が心配されるなど、不安がより一層高まったような気がします。板倉町ではハザードマップのとおり、洪水の発生が最も心配されます。そんななか、少子高齢化はますます進行し、一人暮らしの高齢者が増加している状況にあります。コロナ禍以降、地域社会の疎遠



小谷野泰一
板倉町民生委員・児童委員協議会長

化に伴う、孤立化・孤独化により、人知れず亡くなられるかたもおられるようになりまし。我々も見守りなど、努力を続けていますが、避けては通れぬ問題となっています。また、闇バイトによる凶悪犯罪の増加や物価高、夏の猛暑など、一人暮らしの高齢者にとって生活しづらい世の中になっています。我々としては皆さまが同じよう

に安心して暮らせるよう、福祉の充実を願ひ、地域を盛り上げていきたいと考えています。困った時には、どうか近くの民生委員・児童委員へ相談をしてください。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、新年のあいさつといたします。

新たな時代への転換

謹んで新春のお慶びを申し上げます。コロナ禍という未曾有の危機の中で、私たちの地域経済は大きな打撃を受けました。しかし、会員の皆さまのたゆまぬ努力と関係機関のさまざまなサポートのおかげで、何とか乗り越えることができました。今後も地域住民の皆さまと共に歩み、くらしに貢献してまいります。

昨春秋には、地域振興策として行っております「いたくら商工祭(笑交祭)」が晴天の中盛大に開かれ、町内を中心に近隣も含め80店舗以上が集まるなど、多くの人々が行きかうイベントを開催することができました。主催者代表と

して来場者、関係者様に厚くお礼申し上げます。

さて、本年は、新たな時代への転換期となります。デジタル化や少子高齢化の加速など、私たちが取り巻く環境は大きく変化しています。このような状況下において、デジタル化支援や生産性向上と新たなビジネスチャンスの創出を図ります。また若者や女性が活躍できるような環境づくりを推進し、人材育成の支援などの取り組みを重点的に推進してまいります。

皆さまには、本年が心穏やかな幸運な年でありますよう祈念申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。

自分たちの町は自分たちで守る

新年明けましておめでとうございます。町民の皆さまには、日頃より消防団活動にご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。また、消防団員とそ

のご家族の皆さまには、日頃のご苦労とご活躍に心から感謝申し上げます。昨年火災や災害の注意喚起、雷電神社と西岡神社での模擬火災訓練、水防訓練などを実施してまいりました。多岐にわたる活動を通じ、地域の安全安心を守るため、全団員が一丸となつて取り組んでまいりました。また、町の避難訓練や広報活動を通じて、防災意識の向上にも努め、多くの皆さまと



赤坂晴久
板倉消防団長

その大切さを共有できたことは、私たち消防団員にとって大きな励みとなりました。

今年も「自分たちの町は自分たちで守る」という精神を忘れず、より一層の訓練を積み、迅速で的確な行動ができる消防団を目指してまいります。

最後になりますが、引き続き町民のみなさまのご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、本年が災害がなく、皆さまにとって健康で安全な一年となりますよう、心よりお祈り申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



小池敏郎
板倉町商工会長



荒井英世
板倉町文化協会長

世代を超えた文化活動を推進

新年明けましておめでとうございま
す。皆さまにおかれましては、新春を
健やかに迎えのこととお慶び申し上
げます。

当協会においては昨年中は一日研修
や町民文化祭など協会員などの協力の
もと実施することができました。特に
町民文化祭ですが、協会加盟団体のほ
か、各公民館の利用者協議会加盟団体
のかたがたにも参加いただき、従来と
は違った方法で開催できたことに今後
の文化祭の在り方を考える上で大きな
示唆を与えるものになりました。町内
で大小・老若男女を問わず、文化活動
を行っている個人・団体が一堂に会し
て発表することが文化の振興上いかに

大切であるか、再認識した次第です。

一方で、今や、少子高齢化の中で文
化活動を進めるに当たって、各団体と
も団体の存続に苦勞していることと思
いますが、永続的活動を進めるために
も、文化団体・個人の展示や芸能発表
の場を多く設けることで、多くのかた
に興味を持っていただき、世代を超え
た参加者を増やしていきたいと考えて
います。また、活動を通じて連帯感を
醸成し、地域づくりに生かしていくこ
とも大切であると思います。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を
祈念申し上げ、新年のあいさつとい
たします。



荒山江知郎
邑楽土地改良区理事長

耕作放棄地のない、美しい景観を

新年明けましておめでとうございま
す。町民の皆さまにおかれましては、
新春を健やかに迎えのこととお慶び
申し上げます。

邑楽土地改良区では、板倉町と館林
市東部地区の農業用排水の管理、水路
や堰の維持管理を行っております。

近年、地震や集中豪雨など異常気象
による災害の激甚化が顕著になり、行
政においても防災減災対策に力を入れ
ていますが、農業水利施設においても
同様の対策が必要とされております。
町内に降った雨は、邑楽東部第1およ
び第2排水機場から排水されますが、
その排水機場に繋がる水路に支障が
あつては大変なことになります。水利
施設の補修や更新には多額の費用と時

間がかかりますが、県や町と協議を行
い計画的に進めておりますので、組合
員だけではなく町民の皆さまにもご理
解とご協力をお願い申し上げます。

昨年度から始めました農地の集積は
簡単なことではありませんが、耕作放
棄地のない、美しい景観が保たれるよ
う今後もより多くの地区で農地の集積
が進むよう積極的に取り組んでまいり
ます。

これからも組合員皆さまの負託に応
えるよう全力で運営を行い、行政と手
を取り協力し合うことが町の発展にも
つながるものと思っております。

結びに、皆さまのご健勝とご多幸を
祈念申し上げ、新年のごあいさつとい
たします。

スポーツを通しての住民とのつながり

新年明けましておめでとうございま
す。町民の皆さまには、令和7年の新
春を健やかに迎えのこととお慶び申
し上げます。

日頃から、体育協会活動に対しまし
て、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申
し上げます。

体育協会の目的は、スポーツを振興
し、町民の体位向上と健全な心身の発
達を促すことと、町民相互の融和と親
睦の向上に寄与することです。それを
私なりに解釈すると、健康寿命の向上
と町民同士のふれあいの場の提供にあ
ると考えます。スポーツフェスティバ
ルや町民体育祭など、体育協会の昨年

の活動を振り返ってみますと、その重
要性を強く感じています。

コロナ禍の過酷な時を経て、人々の
生活様式や意識も大きく変わりました。
だからこそ、体育協会といたしまして
も、「運動」や「スポーツ」というキー
ワードを大切にして、健康寿命の向上
やふれあいの場を提供していくこと
で、「板倉町に住んでいてよかった」と
思える町づくりに貢献できるよう努め
てまいります。

結びに、皆さまのご健勝とご活躍を
ご祈念申し上げ、新年のごあいさつと
いたします。



石川和孝
板倉町体育協会長



本年もよろしくお願いたします